

令和4年度 基本評価調書①		所管部局	水産 林務部	所管課	林業木材課		
施策名	林業の担い手対策の推進			施策 コード	0710		
政策体系 (中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系 コード	2 (1) C		
関連重点 戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画					事務事業数	10
SDGs				総合判定	概ね順調		
予算額 (千円)	R 4	382,402	R 3	378,818	R 2	963,431	

施策目標	道内外からの林業への新規参入など、森林づくりを担う人材の育成・確保を進める。 北の森づくり専門学院(略称 北森カレッジ)において、将来の森林づくりを担う人材を育成する。					
現状と 課題	人工林資源が利用期を迎え、今後、伐採や植林などの事業量の増加が見込まれる中、これらの作業を行う人材や事業体の役割はますます重要となっている。 林業・木材産業の競争力強化に向け、林業労働力を安定的に確保する必要がある。					
前年度 二次評価 意見	-		対応状況 (R4.3時点)	-		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	道内外に向けた魅力発信、軽労化・通年雇用化等の就業環境の改善、体系的かつ段階的な研修など、人材の育成・確保に向けた取組を実施。 北森カレッジにおいて、地域等と連携した人材育成と卒業生の着実な就業に向けた支援を実施。 林業事業体登録制度を活用し、経営改善につながるセミナーの実施など林業事業体の経営力の強化を図る。	○首都圏などの農林漁業への関心が低い転職希望者等に対して本道の農林漁業の仕事やその魅力などを発信するイベントを開催。(ジョブセミナーR2:4回、R3:3回) ○就業実習の機会の提供等により就業者の確保を図る取組を実施。(農林漁業就業体験R2:11地域、R3:11地域) ○北海道立北の森づくり専門学院を開校し、道内外から学生が入学している。(R2:34名、R3:40名、R4:40名)

連携状況	農林水分野での一体的な取組(農政部・水産林務部)や移住定住推進センター(総合政策部)でのイベントの開催など施策・部局間連携を進めている(ジョブセミナーR2:4回、R3:3回、R3.11:北海道移住交流フェアに出展(参加者8名))。 全道に設置した、林業事業体や教育機関、市町村などの地域関係者による地域協議会と連携して施策を進めている。(H30~:14振興局管内において実施)
緊急性 優先性	全道各地に設置している地域協議会において、地域や事業体のニーズ等を把握し、地域における魅力発信やインターンシップ等を通じたマッチングなどの担い手対策を推進している。 昨今の道産木材の需要の高まりやゼロカーボンの推進のため、安定的な原木の生産・供給と伐採後の確実な植林による森林資源の循環利用が必要であり、これらを担う人材の育成と確保が急務であり、北森カレッジの生徒に対する就学支援の予算確保を国へ要望しており、R2年度の開校以降継続的に措置されている。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	林業の担い手対策の推進	施策コード	0710
---------------	-----	-------------	-------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R13)	達成率	指標判定
林業の新規参入者数	目標値		160	160	160	160	98.8%	B
	実績値		161	135	158	-		

設定理由 北海道総合計画、北海道森林づくり基本計画に基づき、林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の人数を把握する指標として設定。

分析（主な取組と成果）

農政部・水産林務部・総合政策部との部門横断的な施策（ジョブセミナー、北海道移住交流フェアの開催）を通じ、林業の仕事内容や魅力を発信するとともに就業体験の機会を設けたことで、首都圏在住者や林業への転職希望者の関心を高め目標を概ね達成することができた。

指標名②	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R13)	達成率	指標判定
通年雇用者割合	目標値		56	56	57	77.0	103.5%	A
	実績値		56	67	59	-		

設定理由 北海道総合計画、北海道森林づくり基本計画に基づき、林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の雇用形態を把握する指標として設定。

分析（主な取組と成果）

地域の林業事業者や教育機関、市町村などの関係者と連携した協議会（H30～14振興局で実施）において、通年雇用化の事例共有や意見交換を通じ、就業環境の改善などに取り組んだことにより目標を達成。

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(0)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	A	総合判定	概ね順調
------	---	--------	---	------	---	------	------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	全道で人口減少と高齢化が進む中、森林資源の循環利用を着実に進めていく上で、北森カレッジにおける即戦力となり、将来的に企業等の中核を担う地域に根ざした人材育成が重要であり、令和5年度の北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、PRキャラバンや高校・大学等への訪問、道外での入学試験などを実施。インターンシップや進路相談等による生徒の業種適性の把握等関係団体と連携した取組により生徒の就業先を確保。
	②	全道で人口減少と高齢化が進む中、森林資源の循環利用を着実に進めていく上で、道内外から広く、森林づくりを担う人材を確保することが必要であり、地域ネットワークでの取組や、道内外に向けた林業の魅力発信などにより、新規就業者の確保を促進するとともに、就業希望者等に対する研修の実施や、就業にあたっての経済的負担の軽減により、新規参入者を支援する。
③		

令和4年度 基本評価調書③	施策名	林業の担い手対策の推進	施策コード	0710
---------------	-----	-------------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	
--------------------	--

二次政策 評価への 対応			
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	北森カレッジでは、即戦力となり、将来的に企業等の中核を担う地域に根ざした人材育成が重要。北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、高校・大学等への訪問やオープンキャンパスの開催などの広報活動を強化するとともに、PDCAサイクルやフィンランドとの連携による教育プログラムの充実を図るほか、インターンシップや進路相談等による生徒の就業分野の選択や適性を見極めに加え、関係団体と連携した取組の強化により生徒の就職先を確保する。	
	②	全道で人口減少と高齢化が進む中、森林資源の循環利用を着実に進めていく上で、道内外から広く、森林づくりを担う人材を確保することが必要であることから、地域協議会による道内外への林業の魅力発信などの取組を進めるとともに、若手林業従事者のネットワークの強化等による定着促進、支援センターと連携した体系的で段階的な研修の実施等による林業従事者の育成を図るなど、新規就業者の確保や育成・定着を促進する。	
	③		
R5新規事業数			

令和4年度 事務事業評価調書

施策名 林業の担い手対策の推進

施策コード

0710

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
0631	-	事務	林業機械化の推進に関すること (低コストな機械作業システムの構築を含む)	森林作業の機械化の促進のため、必要な調査等を行う事務	林業木材課		0	0	0.5	1.5	2.0	15,568					
0632	-	事務	担い手対策の企画・立案・実施に関すること	林業労働に従事する者の育成・確保、技術及び技能の向上及び福利厚生の実現を図るために必要な対策の企画・立案並びに新規就業者の確保に向けた通年雇用化や就業環境の改善などを促進する事務 等	林業木材課		0	0	3.0	1.9	4.9	38,142					
0633	-	一般	森林整備担い手対策推進費	林業労働者の安全衛生の確保、技術技能の向上、福利厚生の実現等に資する事業の実施	林業木材課		105,478	104,000	1.0	2.7	3.7	134,279	②	改善(取組分析)		改善	
0634	-	一般	林業就業促進資金貸付事業に関すること	新規就業者等に対する林業就業促進資金貸付に関する事務	林業木材課		2,861	0	0.1	0.0	0.1	3,639					
0640	-	事務	林業事業者等の振興対策等に関すること	林業事業者等の振興に係る施策の立案や林業事業者の育成・指導・研修に関する事務 林業事業者登録制度に関する事務	林業木材課		0	0	1.0	0.0	1.0	7,784					
0641	0708	事務	農林漁業新規就業安心サポート事業費	首都圏などからの新たな担い手となり得る人材の幅広い確保に向けて、農林漁業への関心が低い転職希望者などに対して新たな就業の選択肢とするため、本道の農林漁業の一体的な情報発信や、就業希望者の就業と移住のミスマッチを解消する取組を実施	林業木材課		0	0	1.3	0.0	1.3	10,119	②	改善(取組分析)		終了	
0642	-	一般	緑の青年就業準備給付金事業費	北の森づくり専門学院で専門的な知識と技術を習得する学生に対し、給付金を支給する事務	林業木材課		124,602	0	0.3	0.0	0.3	126,937					
0643	-	一般	北の森づくり専門学院管理費	北の森づくり専門学院における校舎・地域における講義・実習の運営や学生募集のための情報発信に関する事務	林業木材課		123,167	0	20.1	0.0	20.1	279,625	①	改善(取組分析)		改善	
0644	-	維持費	北の森づくり専門学院管理費(維持費)	北の森づくり専門学院における校舎施設の整備に関する事務	林業木材課		26,294	0	0.1	0.0	0.1	27,072	①	改善(取組分析)		改善	
0645	-	事務	森林整備等支援事業費(市町村の体制強化)	「森の魅力発信し隊」による雇用拡大事業	林業木材課		0	0	0.1	0.0	0.1	778					
計							0	382,402	104,000	27.5	6.1	33.6					